条幅規定優秀作品 (11月末日締切分)



31

条幅随意(臨書)優秀作品 (11月末日締切分)



条幅随意優秀作品 (11月末日締切分)



条幅随意(半折½縦)·学生部条幅¼優秀作品(11月末日締切分)



中2.準六段 坂 梨 百 伽 中3.準特待生 木下祐里 中1.準特待生 武 富 千 穂

小6.準六段 宮 崎 さくら

小 6. 準四段 5 松田萌愛

师爱 重

小5.準四段 重 井 大 空 半紙規定優秀作品 (11月末日締切分)



半紙随意優秀作品 (11月末日締切分)



半紙随意(臨書)優秀作品 (11月末日締切分)



37

半紙優 秀作品 (11月末日締切分)

麗





進8級 坂 本 万悠子





熊谷彩香

中 尾 ゆうり タめ

準7級

うり

準7級 大島夕愛

準7級 きよ田 み 羽

準7級

吉 原

4

う



準7級

羽

藤原祐也

7 級 工藤未羽

準5級 千尋 原

準6級

ちひろ

古賀さり

4 級 田中えい一朗

わのなぎょ

準5級

河野凪紗



準4級

長谷川 愛

立石凜香

準8級



準7級

笠 ごうる

級 4 鹿 田 彩 花 準2級

2級

有村風楽

準1級 仁川真梨

1 級
 園田真子





2

四年

小屿

カ子

準5級

小 嶋 凜々子

級

古賀千寿

準4級

大神爽音

準8級 川崎はる

四

年手嶋

準2級

6 級

成 重 つばさ

四年 成

手 嶋 和 奏



準7級

胡

中村航大



白 石 佳奈子

7 級 奈良原 柚 葉

四

年

Ŧ

準6級 吉 富 あやか

6 級 竹中はる

四 年

準三段

5 級 栗田奏和



準四段 松井美月



3 級 島村謙伸









級

菫

1



準3級 井 上 実奈美

3 林

級

陽 菜

陽

髙木 琴々音





38





準4級

秋光萌果

級 2 川畑胡実





準1級

準4級

富吉健太



半紙優秀作品 (11月末日締切分)



硬筆優秀作品 (11月末日締切分)

クレーン車は、お	クレーン車は、お	クレーン車は、お	クレーン車は、お	クレーン車は、お	クレーン車は、お	シートン車は、お
7 級 白石莉子	7 級 冨田こうたろう	7 級 市山めい	準6級 平田悠晋	準5級 中 塚 ふ み	5 級 木原羽菜	5 級 田中しゅん
シートレーン車は、お	クレーン車は、お	クレーン車は、お	クレーン車は、お	クレーン車は、お	をしています。 をしています。 つちいしてのをつ	クレーン車は、お
準 8 級 江川野 敬 太	準8級 岩本ひなこ	8 級 栁本修侑	準7級 奥永約羽	準7級 古 賀 いおり	準7級 石井美羽	準7級 黒松みのり
~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	何かの作り方が書	何かの作り方が書	1000年り方が書	「「てある本を読ん」「「つつみゆうか」	で、せつめいのくて、せつめいのく	○一色のり子
5 級 <b>野間口すみれ</b>	準4級 <b>梶谷美月</b>	準 4 級 さかき田おうか	準4級 日 高 玲 音	4 級 <b>堤 結花</b>	4 級 <b>安 松 はるか</b>	2 級 一 色 のり子
で、せつめいのくて、せつめいのくしてある本を読ん	いてある本を読んいてある本を読ん	「「世つめいのく」	いてある本を読ん いてある本を読ん	<ul> <li>□ 古川さき</li> <li>「つかの作り方が書</li> </ul>	こおかざわ ひな	いてある本を読ん いてある本を読ん
野見つる作り	あつめ本り	本をせるの作り	「つめ木川	うを見つめ作り		一台胡禾竹
野かず大う. 8 級	あっけようの本り方が書	本のあしたが書 準6級	ではしいを方 していた。 うくくま 6 級	うを見つけよう 本 が 書 多 後 5 級	うけよう。 準5級	ことはう うけよう 参加しの うかしの うかま あが書 5 級
野かず す り た り 方 が 書 野 雄 大	あり わけ し う が ま ろ が す ろ が ろ が ろ が ろ が ろ が ろ が ろ が ろ の 方 が ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ の ろ	本の あ る 本 を 見 つ け よ う く 、 が 書 準 6 級 山本乃暖	でした。 では、 しの たか うく で書 6 級 どいみづほ	うを見つけよう 準5級 古川さき たむか- たたむか- こたもとろ		こうけいの では よう が ま あ ことは
野かず大 8 番 ちたむかしの人々のち 後 8 新 たたむかしの人々のち 後 7 大豆のよいところに気 4 級	あやしっく 初かしのく かしいしく かしいしく かしいしく かしの人々のち で、食事に取り入れて 準3級	本のあ を見つけよう 準6級 山 を見つけよう 準6級 大豆のよいといろに気 準2級	でほしう。 6 級 ど い みづほ を読ん を読ん たむかしの人々のち 準2級	うを見つけよう 準古 いたこう を見つけよう 進 ち が た お と ろ か う た 見 つけよう 進 う を 見 つけよう 進 う を 見 つけよう 進 ろ か さ 、 数 さ を う た む か し の く の よ の う の た ろ か さ ろ か さ ろ か さ ろ か さ ろ か さ ろ か さ ろ か さ ろ か さ ろ か さ ろ の ち の う の た ろ か さ ろ か さ ろ か さ ろ か さ ろ か さ ろ か さ ろ か さ ろ か さ ろ の ち の ろ の ち の ろ の ち の ち の ろ の ち の ち の	ッけよう 準 5 線 つけよう 準 5 線 こにおどろかされます。 準 1 級	ことは 5 本 たおどろかされます。 準二段

		成手及	73 IF H		4 /110 / / / / /	
ゴールを決めた選手が両	ゴールを決めた選手が両	ゴールを決めた選手が両	ゴールを決めた選手が両	ゴールを決めた選手が両	コールを決めた選手が両子がよく伝わります。	ゴールを決めた選手の様
準2級 吉田悠莉	準2級 渡邊 藍	2 級 高津陽向	準1級 <b>重井 菫</b>	1 級 谷 幸奈	初 段 大 下 陽 菜	準二段 <b>北 村 友 佳</b>
ゴールを決めた選手の様	ゴールを決めた選手が雨	コールを決めた選手が両	コールを決めた選手が両	テがよく伝わります。 そがよく伝わります。 「こんを決めた選手の様	コールを決めた選手が両	□-ルを決めた選手が両
準8級 <b>黒石翔也</b>	7 級 <b>国崎 純</b>	6 級 <b>原 口 七菜瀬</b>	5 級 <b>深草 凜</b>	4 級 <b>矢野栞南</b>	準3級 島村謙伸	3 級 中野隼輔
■ 二近藤玲実 うんあなた自身が無責任な言 うんあなた自身が無責任な言	「「「「「「」」、大賀星空」 うんあなた自身が無責任な言 うんあなた自身が無責任な言	き深く見きわめることはもち あった自身が無責任な言 自分に問う必要があります。	自分に問う必要があります。 うんあなた自身が無責任なす うんあなた自身が無責任なす。	● 「「「「「」」」「「」」「「」」」「「」」」「「」」」」」」「「」」」「「	「「「「「「「「「「「「「」」」」」「「「「」」」」」」」「「」」」」」」」」	● 二言武万結
準三段 近藤玲実	準三段 大賀星空	三段 鎌田理玖	三 段 中根希 紗	準四段 原田口 悠 衣	準四段 <b>阿 部 美さき</b>	四 段 吉 武 万 結
■ 「市野瀬裕奈 しかに問う必要があります」 しかに問う必要があります。	● 「「「「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」 「	● 「「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」	● 「「「「」」、水谷 瑇 晴 「」」、水谷 瑇 晴 「」」、水谷 瑇 晴 「」、水谷 志 い 「」、水谷 љ 「」、水谷 љ 「」、水谷 љ 「」、水谷 љ 「」、水谷 љ 「」、水谷 љ 「」、水谷 љ 「」、水谷 љ 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、 「」、 」、 」、 」、 」、 」、 」、 」、 」、 」、	自分に問う必要があります。 うんあなた自身が無責任な言	「「「「ないなど」のかを注意深く見きわめることはもちろんあなた自身が無責任な言のなしていないかどうか、常に自分に問う必要があります。	「「「「「「」」、 「」、「」、」、 「」、」、 「」、 「」、 「」、 「」、
5 級 <b>市野瀬 裕 奈</b>	2 級 <b>藤田海タ</b>	1 級 福島 夢	準初段 水 谷 璃 晴	初 段 廣石彩乃	準二段 金山素子	二 段 <b>渕 上 菜々香</b>
水の音が開こえてさましたしば	水の音が開えてきましたしば、水の音が開えてきました。	水の音が聞こえてきました、しばのか、黒くしずんて見えました、ど水の流れは、川底の岩の色ないが、黒くしずんて見えました、岸に立つ	水の音が聞こえてきましたしば のか思くしずんで見えました。 でか思えした。 「「」」「」」「」」「」」」の一次の流れは、川底の岩の色な	水の音が聞こえてきました。しば水の音が聞こえてきました。しばして見えました。岸に立つて見えました。	水の音が閉こえてきましたしばのか、黒くしずんて見えました。	水の音が聞こえてきました。しば か、黒くしずんで見えました。 しば、気が開け、森の中 を流れる川に出ました。 岸に立つ たった
二 段 安倍 亜莉紗	準三段 午 頭 茉 歩	三 段 川 西 由衣斗	準四段 西 浜 ゆ 衣	四 段 水 澤 衣 織	準五段 <b>西 山 健 一</b>	準特待生 広 瀬 憲 人
いの音が聞こえてきましたしけ それんの川に出きした。岸に立つ を流れる川に出きした。岸に立つ を流れる川に出きした。岸に立つ 4 般 戦 戦	のか黒くしずんて見えました。 と水の流水は川底の岩の色な 準 3級 久田松 七 弥	のか、黒くしずんで見えました。しば で流れる川に出ました、岸に立つ を流れる川に出ました、岸に立つ 準2級 梶原 遥	水の音が聞こえてきましたしば のか、黒くしずんで見えました。 と水の流れば、川底の岩の色な 殺 本 本 花	のか黒くしずんで見えました。 と水の流れは川底の岩の色な 準初段野聖也 準初野聖也	水の音が聞こえてきましたしば のか黒くしずんで見えました。 で、水の流れは川底の岩の色な 段 黒 い 初 石	水の音が聞こえてきましたしば     のか黒くしずんで見えました。     ドムつ     と、水の流れは川底の岩の色な     二 二     二 二     二 二     二 上     本     日     上     日     上     日     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二     二

## 硬筆優秀作品 (11月末日締切分)

		· 使 率 傻	75 TF I	日(11月本日	コ が巾 タリンリン	
たけの心の友になるかもしれない の道程がある人どの出会いを大切に してほしいそれは一生の、そして君 だけの心の友になるかもしれない を、「君」、「未れ」」を、野 杏 本小	ちい君たちにはずっと違い未来へ の道程がある人との出会い友建と にてほしいそれは1生のそして君 だけの心の友になるかもしれない。	「これたちにはずっと違い未来への道程があら、との出会い。それは「生の、それは「生の、そして君にいったれは「生の、そして君になるかをしれない」	これないでは、「「「「「「「」」」」、「「」」、「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」	一年 にけの心の友になるかもしれない。 してほしいそれは「生の、そして君 してほしいそれは「生の、そして君	若い君たちにはずっと遠い未来への道程がある人との出会い言葉との出会いを大切にしてほしいそれは1生のそして君だけの心の友になるかもしれない。	○ 二 二田 ロ 美 来 たけの心の友になるかもしれない してほしいそれは一生のそして君 たけの心の友になるかもしれない になるかもしれない。
四 段 矢 野 杏 奈	準五段 <b>鐘ヶ江 瑞 稀</b>	準六段 <b>池 上 友 菜</b>	六 段 松田実久	準特待生 丸山廉未	準特待生 山 本 莉 々	特待生 田 口 美 来
若い君たちにはずっと遠い未来への道程がある。人との出会い言葉との出会いを大切にしてそれは一生の。そして君たけの心の友になるかもしれない。	の道程がある人との出会い友達と の道程がある人との出会い友達と にけのべの友になるかもしれない	ちい君たちには、ずっと遠い未来への道理がある人との出会いをませっとして思しいそれは「生のそして君」になるかもしれない。	これですっと違い未来への道程がある人との出会い言葉との出会い言葉との出会いを大切にしてほしいそれは1生の、そして君にするかもしれない、 してほしいそれは1生の、そして君にたちにはずっと違い未来へ	だけの心の友になるかもしれない にけの心の友になるかもしれない をない言葉との出会いを大切に してほしいそれは「生のそして君」	若い君たちにはずっと遠い未来への道程がある人との出会い言葉との出会いたれは一生のそして君たけの心の友になるかもしれない。	たけの心の友になるかもしれない。 たけの心の友になるか たけの心の友になるか たいもの。
5 級 <b>鹿 毛 春 希</b>	準初段 曽田望未	二 段 佐中梨那	準三段 横山沙季	三段 山下 綾	準四段 萬田愛子	四 段 林川 希
●「「「なるない」というの別まを成していった。 ののわたいとしたの別まを成していった。	「青春は何もかもが実験であるとは、 ある結果を引き出すことはできない。 ある結果を引き出すことはできない。	青春は何もかもが実験であるとは また人生経験の浅い時期には実験を また人生経験の浅い時期には実験を	■ のたかに、対した「ましい」」ですの、 このだけません。 のために、対したしました。 していたまで、「「まし」、 かして、 がしていたまで、 のために、対したしました。 していたまで、 のために、 がしていた。 なので、 するで、 のためでになった。 ののたかでになった。 ののたかでになった。 ののたかでになった。 ののたかでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでになった。 ののためでは、 ないたのでので、 ののためではなった。 のので、 ののためでので、 ののためでので、 ののためでので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので、 のので のので	●石をかって、「「「「」」」」、 「「「、」」」、「」、「」、「」、「」、」、 「「」、」」、」、」、」、」、」、」、」、」、 「」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、 「」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、 「」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、 「」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、 「」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、 「」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、 「」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、 「」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、 「」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、 「」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、 「」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、」、	風の狩りに示の例表を成してす。 その観観味を楽したす。これであったし、 その観観味を楽したす。 その観観味を楽したす。 その観観味を楽したす。 その観観味を楽したす。 その観観味を楽したす。 その観観味を楽したす。 その観観味を楽したす。	● 日本 「「「「「」」」」」」 「「」」」」 「」」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」 「」」」」 「」」」 「」」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」 「
師 範 豊 嶋 祥 波	師 範 松本万紀子	師範正 阪井浩子	師範正 中 野清泉	師範正 白 石 巳砂子	師範正 兼 富 彩 華	師範正 楢橋篤子
一次のなどにあの例表を成してきた。 またい対応したたいないまで、 その説明やえることで、 またい対応したではなってきたい、 たたい対応したではなってきたい、 たたい対応したではなってきたい、 たたい対応したではなってきたい、 たたい対応したではなってきたい、 たたい対応したではなってきたい、 たたい対応した。 たてするしたいたいまで、 たてする。	● 「 「 「 「 「 「 「 「 「 」 こ に 「 」 に 、 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	青春に何もかもが実験であるとは、 青春に何もかもが実験であるとは、	■の方にたたの利用を成一日のですが、 「国の方にたたの利用を成一日のですが、 をはたえたいで通じーンでか、 うったまいです。 そのの説明味をましたいます。 そのの説明味をあったいを成していたらう そのの説明味をあったいをです。 たいたいだんをたますが、 がしていたまでもの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの利用を成一日のですが、 ののたたたたの日のです。 ののたたたでの利用です。 ののたたたでの利用です。 ののたたたでの利用です。 ののたたたでの1日のです。 ののたたでの1日のです。 ののたたでの1日のです。 ののたたでの1日のです。 ののたたでの1日のです。 ののたたでの1日のです。 ののたたでの1日のです。 ののたたでの1日のです。 ののたたでののたたでの1日のです。 ののたたでののたたでの1日のです。 ののたたでのののです。 ののたたでのののでのです。 ののたたでのののでのでのでのでのでのです。 ののたたでののでのです。 ののたたでののでのでのでのでのです。 のののでのでのでのです。 ののでのでのでのでのです。 ののでのでのでのでのでのでのです。 ののでのでのでのでのでのでのでのです。 ののでのでのでのでのでのでのでのでのです。 ののでのでのでのでのでのでのでのです。 ののでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	■のたなこしたの例表を取します。 「同な手が」です。まだすいには大いできまれ やいれたしているもののまであんという かしたまです。よれそいには大いできまれ いれたしているもの人を送す。 たの観網味を乗したできまれ それに対れーというわからします。 かしているもののまを取したでいるまれ かしているもののまを取したでいるまれ かしているためにすったんという かしているためにすったんという かしているためにすったんという かしているためにすったんという	第二日の「「「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	● 「「「「「」」」」」」 「「「「」」」」」」 「「」」」」」」 「」」」」」」 「」」」」 「」」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」」 「」」」 「」」」」 「」」」 「」」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」 「
準六段 大 門 福 枝	六 段 古 村 青 霞	準師範 末 森 水 苑	準師範 櫻 井 敏 子	準師範 井上真翠	師 範 <b>堤  璃 江</b>	師 範 <b>鹿 毛 純 光</b>
「「「大」」では、「「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」、「」、」、「」、「	●「素」は何らからが実験であるとは ある結果を引き出すことにするない。 ある結果を引き出すことにするない。	「青春は何もかもが実験であるとは ある結果を引き出すことはできない。	● これ 「「「「「」」」」 「「」」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」 「	● 「「「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	● 「「「「大」」」、「「「」」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、	青春は何もかもが実験であるとは
2 級 宮秋冴子	1 級 長尾久仁子	初段 重松周子	二 段 井 上 玲 秀	準三段 松 永 美惠子	四段 森野春陽	四段 佐田尚子
青春は何もかもが実験するのとは	「青春は何らからが実験であるとは	「青春は何もかもが実験であるとは	▲の冷たさに手の制まを減しるとうです。 等端によえまった。このでればすいです。 そのに制めたきに手の見たしていたで、 そのに制めたりまっていたで、 そのに引きたいです。 そのに引きたいです。 そのに引きたいです。 そのに引きたいです。 そのにしていたで、 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 ののか。 のかった。 のかった。 のかった。 のかった。 ののかった。 ののか。 ののかった。 ののか。 ののかった。 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	「青春は何もからが実験であるとは	青春は何もかもが実験であるとは	「「「大きい」、「「「大きい」」」」」」 「「「大きい」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」
<ul> <li>▲ とこままの</li> <li>とこままの</li> <li>たままの</li> <li>8 級</li> <li>佐藤加奈</li> </ul>	1.1時期には実験を 1.1時期には実験を 7 級 7 和田さゆり	博子(1) (博美) 6 級 野口博美	進4級 長尾益子	<ul> <li>▲ 級</li> <li>古財千夏</li> </ul>	************************************	准2段 北川孝子

## 硬筆優秀作品 (11月末日締切分)

42